

令和6年6月12日

自由民主党
「大学病院を支援する議員連盟」 会長 殿

一般社団法人全国医学部長病院長会議
会長 相良 博典
一般社団法人国立大学病院長会議
会長 大鳥 精司
一般社団法人日本私立医科大学協会
会長 炭山 嘉伸
(公印省略)

令和6年度大学病院関連要望

平素より医学教育・研究および医療の改善充実に関してご指導、ご高配を賜り、誠にありがとうございます。

令和5年度につきましては、「経済財政運営と改革の基本方針 2023」への記載に伴う令和5年度補正予算および令和6年度予算などの財政的支援をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

医師の働き方改革施行の中で、大学病院における教育・研究・診療の充実・強化は重要な課題であり、特に、国民の健康と福祉を担う医療者の育成は最重要課題であります。

国公立大学病院全体に関する要望事項を下記のとおり要点を取りまとめて提出させていただきます。

厳しい財政状況下ではありますが、何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 医師の働き方改革を踏まえた財政支援について

大学病院においては、医師の働き方改革が施行されても教育、研究といった重要な役割、さらには自院の医療体制の維持から地域の中核的医療機関としての地域医療の維持まで影響が出ないよう様々な対応をしてきたところです。今回、施行後の調査を実施したところ教育・研究時間への影響や医師派遣の取扱いについて検討していると回答してきた大学もありました。大学病院では診療報酬改定を踏まえ、医師等の人材確保に向け処遇改善を検討し、教育や研究の質の向上や医師派遣を維持していこうと考えていますので、引き続きの財政支援を要望いたします。

- (1) 医師派遣を維持するため厚生労働省の「勤務環境改善医師派遣等推進事業、地域医療勤務環境改善体制整備特別事業」の更なる拡充が必要
- (2) 医師の確保が厳しいなか、教育・研究時間を改善していくためには文部科学省の「高度医療人材養成拠点形成事業」の更なる拡充が必要、また、教育・研究時間の改善に伴い診療時間が減少する場合には診療時間相当額等の支援により病院経営を維持していくことが必要

2. 光熱水費をはじめとした物価高騰への財政支援

国内では物価高騰が続いておりますが、医療機関では診療報酬制度の下で診療費用へ価格転嫁することが出来ないため、節減努力で対応してきたところですがそれも限界にきています。大学病院ではエネルギー消費量が多い大型医療機器や使用する診療材料等も多く、他医療機関に比べてその影響は大きなものがありますので物価高騰に対する支援を要望いたします。

3. 医療 DX の推進について

診療報酬改定において、医療 DX の推進に向けて体制整備加算を新たに措置いただいたところですが、大学病院における業務の効率化や質の高い医療の提供と医師の働き方改革を推進していくためには、財政面での支援がなければ、円滑な医療 DX 導入は困難であることから更なる支援を要望いたします。

4. 共用試験実施に伴う財政支援について

令和5年度よりシームレスな医師養成に向け臨床実習前の共用試験が公的化されたことに伴い、医療系大学間共用試験実施評価機構の果たす役割は重要になっており、評価者および模擬患者の養成等に係る費用や各種委員会の設置に伴い当初の見込みを大きく上回り経営を圧迫している状況にあります。機構が公平かつ信頼性を確保しつつ試験を実施していくためには、経営基盤の確立が必要であり、これらに必要な財政支援を要望いたします。

5. 医療機器の整備状況について

大学病院は医学生や臨床研修医等の臨床教育の場として、最新の設備により高度医療人材を養成していく使命がありますが、保有する医療機器等の設備更新は進んでいない状況にあります。令和5年度補正予算で高度医療人材養成事業(附属病院の環境整備)として140億円のご支援をいただきましたが、引き続き大学病院における医学生の教育環境の充実を図るための財政支援を要望いたします。

以上